



子どもの人権に関する 人権啓発パネル展

～人権週間(12月4日～10日)を機会に～

例年12月4日から10日は、人権週間です。人権週間は、1948年12月10日の国際連合第3回総会において世界人権宣言が採択されたことを記念して制定されました。

子どもは、歴史的に「小さな大人である」「大人の所有物」と捉えられていた時期があり、子どもは大人のいうことを聞くのが当たり前との認識のもとで、権利の主体としての人権が侵害されてきましたが、本来、子どもは大人と同様に、誰もが尊重され、幸せに生きる権利を持っています。

しかしながら、虐待、体罰、貧困など、大人の生活状況が社会的に弱い立場にある子どもの生活や成長を脅かし、時には生命が奪われるといった事態も起こっており、子どもの人権について深刻な状況が続いています。

子どもの姿は、現在の社会を映す鏡であり、これからの未来を映す鏡です。この人権週間を機会に、子どもの人権について考えてみませんか？

日時 令和元年 **12月2日**月 — **6日**金

【開催時間】 9:00 - 17:00 ※最終日は15:00まで

場所 大正大学 3号館 1階ロビー

問合せ先 浄土宗人権センター
TEL: 075-744-0360
Eメール: jinken-center@jodo.or.jp

共催: 天台宗・真言宗智山派・真言宗豊山派・時宗・浄土宗
後援: 大正大学

同時開催

大正大学 成道会

12月4日(水)
各宗派合同法要
お練り
護摩供養
ほか

浄土宗公開シンポジウム

テーマ「シングル家庭から考える子どもの貧困」

12月5日(木) 15:00～17:50(終了予定)
場所: 大正大学2号館8階同窓会ホール

基調講演

法政大学大原社会問題研究所教授 藤原千沙氏

パネルディスカッション

コーディネーター: 皇學館大学 准教授 吉田明弘氏
パネリスト: 大正大学 講師 吉水岳彦氏
講師 小川有閑氏

